

作目名	う め
-----	-----

<露地栽培>

○技術体系設定の前提条件

(1)対象地域

西濃、中濃

(2)立地条件

①気象条件

開花期の気象条件が収量に大きな影響を及ぼすため、霜害の心配のない園地を選択する。冷気のたまりやすいくぼ地や風当たりの強い場所を避ける。

②圃場条件

うめは浅根性で酸素要求度が高く、夏季の乾燥は早期落葉をまねき、貯蔵養分の蓄積、花芽の充実などに悪影響を及ぼすため、有効土層が深く肥沃で排水良好な土壌が適する。

(3)目標収量と植栽間隔（10a 当たり）

	植え付け	結実開始	若 木 期			成木期	老木期
樹 齢 (年)	1	4	6	8	10	11～40	40～
収 量 (kg)	0	200	500	700	1,000	1,500	1,300
栽植本数 (本)	20	20	20	20	20	20	20
(栽植距離) (m)	7×7	7×7	7×7	7×7	7×7	7×7	7×7

○生育過程

月・旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			備 考 (品種)
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
露 地																																					藤五郎

✂ : 整枝せん定

☆ : 開花

⊙ : 摘果

△ : 基肥

∇ : 追肥

□ : 収穫

○土づくり・施肥

①土づくりの方法

たい肥等の種類	投入量	備考
牛ふん堆肥	2 t / 10 a	未熟の粗大有機物では紋羽病の発生源になるため、完熟堆肥か速やかに腐熟する材料を用いる。

②施肥基準 (10a 当たり、kg)

施肥成分	総量	基肥	追肥	追肥	追肥
窒素	10	3	3	4	
りん酸	11	4	1	6	
加里	9	3	2	4	

施肥設計にあたっては、堆肥中の有効成分を測定し、それを施肥基準から差し引き肥料の施用量を決定する。